



# 八期歴史会往来第40号

2020年8月1~8月31日(月)

●歴史通信担当 大石よりみなさんへ 39号へのメッセージより。

今年は鹿児島地方は例年より2週間遅れて28日に梅雨明けしました。

梅雨明けと、鴨池球場での『高校野球大会』が重なり、おまけに我が玉龍高校が19年振りの準決勝にまで立ち上がったので八期会のぐるーぷLINEはそれは盛り上がりました。

惜しくも敗れはしましたが久しぶりに若がらせてもらいました。

「あの頃の野球部選手の写真を森くんから提供」されたので見てください。60数年前の思い出です。

さて、相変わらず新型コロナの猛威は衰えず、大都市はいよいよ収支のつかないところまで行きそうな勢いです。地方も『離島』まで押し寄せています。どうか皆さま！気を付けてお過ごしください。罹ったら最後と思って！！

## 7月31日分〜クマモト発

〇7月21日に宮崎県のえびの市に行ってきたばかりなので、今日の新名氏の「南点」は良くも悪くも実感として読むことでした。

えびの市在住の森くんの従兄弟・秋丸さんもまるっきりの鹿児島弁でした。嬉しかったですね。現在の鹿児島県と宮崎県の県境と先日来話題とした大石くんが送

てくれた旧薩摩藩の薩摩国・大隅国・日向国の地図で境目を比べてみると、宮崎県の南の方は当時の日向国です。現在の宮崎県の1/3? 位が日向国になっています。

そういうことを考えると、宮崎県と鹿児島県は新名氏の言うように南九州の隣県同士、協力してコロナを乗り切る必要がありますね。我田引水ですが、宮崎にはこの最中でも旅行に行ったりすることも許される?

〇鹿児島市内の銭湯はすべて温泉だと思っていますがどうでしょうか?

都城にも温泉の銭湯があるのでしょうか?

その昔、といっても数十年前商圈を考えると県ではなく旧藩で考えると分かりやすかった。

八戸は岩手県ではなく青森県福島県や山形県には、ここも福島ですか山形ですかという市がある。

鹿児島企業の企業でも都城に出店しているところがあります。

## 南点

歴史研究者 新名 一仁

週に1度、鹿児島県の大学で講義をするため宮崎市から通勤している。講義のあと、鹿児島市内の銭湯通いを常としていたが、5月に立ち寄った所には、外の方は「遠慮下さい」との紙があり、やむなく市外で探した。一方、同じ時期に宮崎市都城市の温泉で「県外ナンバー

**コロナ禍と県境**

お断り(但し鹿児島ナンバーを除く)という貼り紙を見て、都城らしい対応だと妙に納得してしまった。

都城は鹿児島県に隣接しており、曾於市の一部は都城の商圏に組み込まれている。鹿児島側から通勤する人も多し、都城の高校に通学する生徒も多

京の記者たちを困惑させた。どうして宮崎県出身者が薩摩人には問い合わせが複数あった。当時私は市役所に勤務していた。彼は薩摩藩内の有力一門、都城島津家臣の末裔であった。都城出身者のある年齢以上の人には、旧薩摩藩出身という

意識が強く残っている。そうでもなく、鹿児島弁に近い諸県弁を操る都城市民は、鹿児島への親近感が強く、コロナ禍においても同県民を排除できないのであろう。

6月まで鹿児島県内の感染者は九州内で最も少なかった。しかし7月に入ってクラスター(感染者集団)が発生し急増したことはご存じのとおりである。宮崎県の知事は「鹿児島に行く人は特に注意してほしい」と、私にとっては耳の痛い注意喚起をしていた。

もはや他県民の流入を阻止すれば感染を防げるという状況ではない。南九州の隣県同士、お互いに忌避ではなく協力してコロナ禍を乗り切る努力が求められているのではないだろうか。

=====西山 和宏

○「美しい夏キリシマ」のロケ終了後の黒木邸で、黒木和雄の弟夫婦と一緒に敷石の前で写した写真がありました。当時の庭は草も生えておらず奇麗なものでした。

○ 森くん夫婦も若くて、黒木邸もまだまだしっかりしていますね。黒木邸もこの姿に戻すことができればいいですね。

○今度の黒木邸での森御夫妻のお写真、すぐわかりました♡ 貴重な写真見せていただきありがとうございます  
見学に行ったばかりなので、あそこだとわかりました♪  
森さんの、ご親戚すごいですね。お母さんもそれで105歳になられても、しっかりなさっているのですね(^.^)



○8月3日 昨日は久しぶりの楠声会の練習があつて4時間でした。すったいだれもした。

森くんのメールも開いただけで寝ました。ゴメン

今日、予告編森くんが送ってくれた予告編を見て改めて youtubede を開いて4分モノを見ました。黒木邸でのシーンもあり、また画面も幻想的で素晴らしいです。えびの市の夏の風景もきれいです。そればかりか全編も見ることができます。

もっとも私もこれからの楽しみにしています。1時間58分58秒の長編です。ゆっくり見ることにします

○「天下人達の夢 8」送ります。 太石

空を見るとコロナも忘れてしまいます。夜は夜で満月何も考えず歴史本でも読みます。相撲も終わり、プロ野球放映もナシ、ビデオに録画してたクラシックでも聴きながら...

○みなさんも系図で注目なさっていることは、織田信長の妹 お市の孫娘和子が後水尾天皇に嫁ぎ明正天皇を儲けたことでしょう。

これで織田の血が後々まで繋がれた。

藤堂高虎、天海僧正とともに多数の灯籠が大きさを競う上野東照宮の建立に努めた。

そこには、左甚五郎が彫った登り龍と降り龍が門を守っている。

その龍が夜な夜な不忍池に水を飲みに行くと言われているが確認はされていない。

○さすが、西山氏のアンサーは…さらっと流してるのに…感心します。

日光東照宮の甚五郎は知っていたけど上野は知らなかった。○今日90%の確率で確認したこと



マスクは大統領の紋章入りです 同行している閣僚などのマスクには紋章が付いていません。

さあ～、晋三君 どうする。



08月5日

昭和35年頃、私たち(藤崎、柴田、時田、鮫島の旧生物部メンバー)は飯野駅に降り立ってそこからトロッコ道(多分、廃線になっていたのでしょうか)を通してキャンプ場(名前は覚えていない)まで長い長い道のりを歩きました。

昨日映画で「霧野駅」がでてきたので、あまり記憶はないですが、多分「飯野駅」だろうと思いながら懐かしく見ました。

昔の駅は大体あのような佇まいでしたね。私が疎開していた東郷(現在の薩摩川内市の東郷町)の宮之城線の楠元駅もああいう感じでした。クマモト

07日

今朝の南日本新聞南風録に黒木監督の映画「父と暮らせば」のことが記載されていました。当時えびの市民会館で黒木監督3部作の上映会が開催されたとき見に行った覚えがありますが、出演者は3人だけで退屈して見たような気がしますが宮沢りえの美しかったことだけは覚えています。

○南風録、見逃しました。

このところ黒木監督一えびの市一森くんの話題が多いようです

。ほんとうに前回の『えびの市探訪』は一日だけの『出来事』にしては内容の濃いものでした。

昼食に食べた「冷やし中華そば」の味は(量が多すぎたのはまいったけど)過去一のものでした。

○今朝、南風録を見て本編も見ることが出来るかと思いYouTubeで探ると「お試し無料3ヶ月」では見ることが出来るようになりました。

暇があれば登録して見るができます。もちろん予告編は見ました。クマモト

8月7日

太石新聞切り抜きから 右

○2020年～ワクチン成功まで。歴史に残る時代に生きている私たちにとって、この記事は見逃せない。「長屋王と天然痘と天平の世」...

2020年(令和2年)8月7日 金曜日 文 化 12

## 遺跡からの警告

### 疫病編

2

第一部 先史時代・奈良時代

青丹よし 奈良の都は咲く花の薫りがごとく盛りなり。『万葉集』にこう歌われ平城京(奈良市)で国際色豊かな仏教文化が花開いた天平時代は、疫病の時代でもあった。

「こ主人様に取りつかず、山陽道に戻って西へ退散してくれ。天皇が住む宮殿近くの大通り、二条大路跡で発掘された木箱のふたには、こんな呪文が書いてあった。

奈良文化財研究所の馬場基史料研究室長は「恐ろしい天然痘から、聖武天皇や大貴族の藤原麻呂を守ろう」

たのでしょ」と言う。「続日本紀」によると、天平7(735)年に大宰府(福岡県)管内で痘瘡(天然痘)がまん延、多くの死者を出した。九州は大陸との窓口で、海外からの使者や商人が頻りに往来。日本人に免疫のない感染症も入ってきた。天然痘は飛沫感染し、急激な発熱や四肢の痛み、全身に豌豆(エンドウ豆)のような水疱が現れる。ワクチンができる前は致死率20~50%の「死の病」だった。朝廷は神社で祈禱、寺では読経させ、苦しむ人々に米や煎じ薬を給付。長門国(山口県)をはじめ山陽道沿いの諸国で、疫病神の侵入を防ぐ呪術「道饗祭」を行った。

太平の世と天然痘

翌年、流行が下火になる。長屋王のたたりだと思われ、長屋王のたたりだと思われたから。長屋王の慰霊、仙壇である吉野でみづきをし、身についた罪や汚れを払おうとしたと馬場宮長。

長屋王は、天武天皇と天智天皇の血を引く有力な皇位継承者、仏教や道教を学び、国家転覆を企てていくという偽りの密告により、藤原氏が差し向けた兵に邸宅を囲まれ自害した。しかし、聖武天皇の外戚である藤原氏と対立、神皇本靈記に、長屋王の遺骨が土佐(高知県)に漂着、疫病が大勢が死んだとあり、たたり説は根拠があったようだ。

一方、長屋王のすぐ近くでは、疫病よけとみられる絵馬や無数の土器が発掘された。同研究所の神野恵考古第二研究室長は「どの土器にも油を燃やした跡があり、燃灯供養を行った可能性が高い。形やサイズはまちまちで、庶民の食器まであった。徐々に迫る疫病の恐怖から、必死にかき集めたのでしょ」と話す。

長屋王が非業の死を遂げた邸宅で、さきげられた無数の炎、だが天平9(737)年、恐るべき「第二波」が都を襲う。長屋王は後、藤原4兄弟が命を落とす、国の礎さえ揺らぐ事態になった。

|| 随時掲載






たたり説 都を揺るがす

(写真上から時計回りに) 長屋王邸にあったとみられる絵馬=1989年1月(奈良文化財研究所提供)▽天然痘の終息を願い、「山陽道に戻って西へ退散してくれ」と書かれた木箱のふた=2009年9月(奈良文化財研究所提供)▽長屋王邸での燃灯供養で使われたとみられる大量の土器。油を燃やした跡がある=2020年6月(奈良文化財研究所提供)

平成の世(50年ほど?)を括るとすれば「新型コロナと…」あと二つは私達の次(孫たち)の世代に登場するのでしょうか。未来はともかく今に目をやると…新型コロナとアビガン(治療薬)はどうなったのだろう??

ワクチン競争に日本はなぜ?

わからないこと多すぎます。

○天然痘とくれば、むつつり右門のライバル、あばたの敬四郎

今、中断している大河ドラマ、明智光秀の妻熙子は16歳のとき、23歳の光秀に嫁いだ嫁ぐ直前、天然痘を患い、顔の左半分があばた面になった。

光秀が朝倉義景に仕えているとき、歌会を担当させられ費用捻出に窮しているとき、熙子が黒髪を切り売って必要の一部にしたという。

ワクチンには副作用という大きな問題があり実際に一般に摂取するためには、たとえば、数千人、たとえば、3000人のワクチンを打ったグループともう3000人の打たなかったグループの比較という治験が必要だそうです。

日本では陽性者が少ないため、このような治験を行うことができないそうです。

今後、陽性者が増えて、1万人規模の治験が可能になっても1人でも重大な副作用が発生したら、千万人に摂取したとき千人の重大な副作用が発生することになります。

外国でOKだから、日本人にも大丈夫なるかどうか?

日本での現実的な対策は、大阪の知事が言う殺ウイルス効果があるポピドンコードでのうがいこれに厚生労働省は、有効だというエビデンスがないと言っているのをテレビで見ましたが、エビデンスを得るには数千人規模で数カ月の比較観察が必要です。

コロナ対策として、今後、インフルエンザや肺病などに有効な既存薬の適用実験が有効だと思います。

「アビガン」はインフルエンザの治療では保険が適用されますが。コロナでは「保険適用外」これもコロナに有効かどうかの治験が必要だそうです。

=====西山 和宏=====

## ○隈元コメント

文中に天然痘が日本に入ってきたのは太宰府辺りからとありますが、この一事を見ても外国との窓口をシャットアウトすることが、いかに大事かということは今更ながら痛感します。その点では今回のコロナは中国の習近平来日などへの影響など政治判断が先行し、窓口を閉めるのが遅きに失したということでしょう。もちろん中国からだけから入ってきたわけでもないとしても、緩かったですね。

## ○ 大石アンサー

さすが、早々に楽しみと為になる知識をありがとう。

日本がワクチンレースに参加出来ない事情がよく分かりました。

治験なんだ、つまり臨床試験する相手が少ないわけですか?

よくない言葉で言えば「人体実験」それは、もしかしたら取り返しのつかない結果が出て国の裁判問題に発展するので日本国の官僚(政府も)及び腰になる。ということ日本という国はずるい(これもいい言葉ではないけど)感が否めない。

西山せんせいも書いていたけど大阪の吉村知事が波紋を投げかけているコロナに効く? イソジンうがい薬に対する国・政府の対応…確かに結果はいまのところ吉村知事が「発した」思いとは違った方向に進んでいるようだがぼくは彼を批判はしたくない。



昔を思い出すとがんに効くワクチンと騒がれた丸山ワクチンも国は認めなかった(保険適用としては許可しなかった)しかし現在までに40万人のがん患者が使用したそうです。

これは全く副作用がないらしいけど...

医者(医師会)と薬品会社(開発する)の確執もあり日本の対応はとてもまどろっこいものがありませんか。

○8月9日 今日の南日本新聞より。ひろば投稿 濱田 修くん

○今朝の「ひろば」欄に伊作在住の濱田 修くんが投稿しています。大石紹介

彼とは同じ組みで、大学でも同じ学部だったので付き合いが深かったのですが、残念ながら年賀状のやりとりだけになっています。 隈元コメント

○内容の濃い考えさせられる投書が多いですね!

私も旅行先の大阪で機銃掃射を受け、非難の途中、敵機が来るたびに道端の家の軒先に避難しました。トム・克蘭シーの小説のどこかに、米兵は戦闘員ではない市民を攻撃しないとあったと思います。南北戦争で、北軍は戦況挽回のために非戦闘員への攻撃をしたと言われています。

なぜ、日本は白旗を掲げるのが遅かったか、おそらく陸軍も海軍も我々は戦える、まだ勝算ありと虚勢を張って、無力化されつつ状況を隠したのでしょう。

陸軍は海軍に、海軍は陸軍に、先に音を立てて欲しかったのでしょう。

コロナ対策でも厚生労働省は文部省管轄の大学病院に積極的に協力を

求めず、GO TOキャンペーンは観光業対策者なのか景気対策なのか、省益優先、縄張り争い、責任逃れの予防線対策に終始しています。

戦争に敗けた戦前の体制に瓜二つ、そっくりの感あります。

この傾向は年を経るごとに強くなっています。

省益優先の第1は、情報の秘匿、抱え込みです。

濱田さん、「最後の砂糖と小豆」、お母様の覚悟のほどが感じられます。

水をあげる住民を叱る上官、このようなことは、今も慙慙に続いているのでしょう。

大好きな読書好き、大変いいですね!

「馬毛島整備計画」...「より丁寧な説明が必要」地元の出方を見ながら、これから少しずつ考えるのでしょう。

母が作った「最後のぜんざい」  
元教員  
濱田 修(81)

翌年3月半ばの夜、集落の防空壕にいたら、誰かが「鹿児島が燃えている」と叫んだ。東の山の稜線が赤く染まり、時折溶けた溶岩のような火柱が上がっていた。しばらくして、爆撃機の編隊がごう音を響かせて南へ飛び去った。

数カ月後には日本兵が大勢で行進するのを見た。兵隊の多くは戦友に抱えられたり、綱で引かれたり。見かねて水を振る舞った住民は上官らしい人に怒られていた。

間もなく「吹上浜に米軍が上陸する」といううわさが広まり、吉田村への疎開が決まった。途中でトラックで鹿児島市を通ると、電線は垂れ下がり、焼けただれた市電があちこちで放置され、焼け野原には異臭が漂っていた。

戦後戻った伊作での食糧難は本当につらかった。母の着物を米や麦なると、交換してもらっため、何度農家を回ったとか。小さい子どもまで巻き込む戦争は一度と起こしてはならない。それを書き残しておきたい。(日置市)

医療関係者とその家族に感謝を  
主婦 小原由美子(71)

長い人生の道のりで、多くの人と出会い友情を育んできた。先月の大雨や鹿児島で新型コロナウイルス(感染者集団)が発生した時も、各地に散らばる友人たちが心配して電話をくれた。

山陰地方に住む友は、自閉症の娘の好物の板ワカメを送ってくれて「ちいちゃん、大丈夫なの」と、電話してきた。彼女もコロナを疑ったが、

もコロナでは大変だった。その県で初めてコロナ感染者を診たのが、医者をしていて彼女の弟だった。何度かPCR検査の要望をしてもかなわずに、陽性と確認されるまで日数がかかった。弟が陰性と分かるまで、家族と会っているのが緊張が続きそうだった。彼女も疲れて血圧が上がって、熱も出てコロナを疑ったが、

ジェット戦闘機がマフラーを外して飛ぶと、雷のような爆音を残して行き、音速を超えるときには、ドーンと衝撃を与えます。

=====西山 和宏 [mfikazu@tkg.att.ne.jp](mailto:mfikazu@tkg.att.ne.jp) 03-3814-0360

○8月10日

出水の地名は、平安時代中期に作られた辞書である「和名類聚抄」には伊豆美(いずみ)とあり、山内(やまと)、瀬渡(せと)、借家(かしくり)、大家(おおやけ)、国形(にしかた)の5つの郡があった。

この中で、借家は借栗(かしくり)が訛ったものであろうという。

記事にある「加紫久利」は、借栗から借家へと転じてきものかもしれない。

離島への便には医療従事者も搭乗することがあるため航空会社は赤字でも簡単に止められないのだそうです。

○10日隈元コメント

先日の「平松神社」もそうですが、今日の「感応寺」も未だ到達し得ない場所の一つです。

島津氏初代の忠久～忠時～久経～忠宗～貞久の5代までの菩提所と知りながら、同じ5代までの墓碑のある清水町の本立寺でお茶を濁しています。島津始祖の感応寺は行っておくべき場所の一つなので、是非行ってみたいですね。

島津義弘没後 400 年から更に島津氏への興味が深まり、あれこれ調べるな中で、県内でも関連で行っていない史跡が多いことに驚きます。

しかし、考えようによっては、まだ楽しみが多く残されているということでもあります。ぼつぼつまわります。 クマモト

○いつも配信ありがとうございます。

旅どころ そそられますね ^^

お世話になった八期旅 懐かしく思い出されます。

今も昔も 健康でないと旅は楽しめませんね ^^

あ それに 懐具合も健全でなければ ^^

長崎 諫早 森永

○隈元 達雄 様はじめ、大石、古市、西山、永野 の皆様方へ。

浜田修氏の、南日本新聞の「ひろば」欄への投稿文、小生も本紙で読みました。

隈元様、浜田様がおっしゃるように、我々こそが、「語り部」として、このような悲惨な戦争を後世の人々に伝えてゆかなければならないと思います。

我々の年代は、あの太平洋戦争の「最後の実体験者であり、証人」です。

20年前に我々が立ち上げている鶴丸高同期会(第9回卒、みみずく会)のホーム・ページでは、戦後の70年経過した、2017年に、「みみずく春秋特集号」として「終戦秘話」という冊子を発行しました。

それは、同期生24名でしたが、それぞれの太平洋戦争をかいくぐった貴重な「体験」をそれぞれ綴った、文集であります。

国内[例、鹿児島大空襲など]に限らず、満州、朝鮮、中国、台湾などの当時の植民地などの戦闘の様子や、引揚げ船などでの苦労など、盛りだくさんの「戦争秘話」集です。

今も、下記のURL で呼び出せば簡単に読めますので、良かったら、開いて覗いてみて下さい。

鹿児島県立鶴丸高等学校 第9回卒業生同期会「みみずく会」ホーム・ページ [mimizuku.org](http://mimizuku.org) 又はみみずくサロン でも「検索」可能です。

その表紙から、案内に従って、「終戦秘話」特集号をダウンロードしてください。

ちなみに、小生も台湾からの引き揚げ者ですが、終戦前後の赤裸々な体験を綴っています。  
終戦記念日が近づきました。

我々こそが、「生き証人」としての責務を感じます。

皆さんで、子や孫に語り掛けて「平和の大切さ」を伝えてゆきましょう！！

2020, 8, 10、 本田 哲郎

○大石 慶二 様

メールに早速、ご返事、ありがとう！！

我々の鶴丸高校では、昭和33年3月の第9回生の同期会でありまして、3, 3, 3, 9をもじって「みみずく会」と称しています。

皆様と、おそらく同期生であると思われます。（大方の同期生は昭和14年4月から昭和15年3月までの生まれた輩たちです）このHPは、もう19年になりますが、同期生の仙田君が技術的に、小生が管理人としてスタートした同期会のホーム・ページでありまして、今も、仙田君は管理人として務めてくれているHPです。「談話室」なども依然として、健在です。

○大石より副島（今は秋山）律子さんへ

鶴丸の同期に本田さん、ご存知ですか？島津家久の研究？で親しくなっています。

ミミズク会とは good です。

○大石 慶二 様

秋山（旧副島）律子さんは、良く存じています。

在京の頃から、彼女は常磐線、柏市に住んでおられ、小生はその柏駅から、東武野田線の梅里駅近くに住んでいました。

彼女は、おっしゃる通り、「短歌」のお師匠さんで、アチコチの短歌会の指導もされておられます。彼女の詩集の数々、小生もいただいています、彼女の満州での体験、「満鉄」の「超特急列車あじあ号」を謳った「短歌」はいつまでも心に残っています。

「あの空の深さ記憶の大連の「あじあ号」というかなしい力」

在京の頃、中国は大連や230高地などの旧満州も「旅」する機会もありました。

大連周辺の広大な平原や今や工業地帯が散見されるはるかな土地で、過つての「植民地」が存在したことを改めて、認識した「旅」でした。彼女はおっしゃる通り、同期生でも飛び切りの美人で、人懐っこい、ステキな人です。その後、ご無沙汰していますが、賀状だけはお互いに、交流しています。2020, 8, 11、本田 哲郎

○本田様へ大石より

ありがとうございます。

玉龍と鶴丸の(同学年)の架け橋がひとり見つかったこと、とても嬉しく思います。

○終戦記念日か、近づきました。最後の 我々こそ、生き証人です。満州国は私が生きているかぎり心の中にあります！

最近 鹿児島市役所で、戸籍謄本を取りに行きました。

満洲国で産まれた私出生国...満洲国蓋州係の人聴いたら...30分待たされ挙げ句の果て わかりませんと言われショック☹️だったこともありましたが？

平成4年産まれた孫が五年生の時(福岡市)

平和教育で終戦のリポートが宿題でした。もちろん娘も孫も戦争体験者じゃなく私に聴いてきたので、引き揚

げ船の体験を話したことがあります？

福岡市は 引き揚げ港博多だから常設展示施設があり 娘が子供をつれて 見学に行ったら

大きなパネルに おおきなリックを背負った、お母さんと7歳ぐらいの女の子が 大きなパネルに映る光景を見て、涙が止まらなかったそうです(おばあちゃんと私)思い出したそうです？

小5。小3...の孫が駆け寄ってきてなぜ泣いているの？聞いたみたいです。おばあちゃんがあんな姿で...それを聴いて孫二人もなきたしたそうです♡

おばあちゃんが日本にかえれたから私達があること話したそうです♡

本田先生の貴重な体験戦争秘話終戦記念日 八月15日思う

永野和枝

○西山アンサー

私は朝鮮の慶尚南道におりました。

釜山港から博多へ上陸しDDTを浴びせられました。

私は昭和15年3月生まれです

敗戦直後、私は1人で朝鮮人が幟をたて、鉦や太鼓を打ち鳴らし

大通りを踊りながら歩く行列を見に行きました。

家の近くにあった警察や郵便局は朝鮮人に占拠されました。

数日もしない内であったと思いますが陸軍のトラックが1台警察の前庭にやってくると朝鮮人は抵抗することなく逃げてしまいました。

周辺の日本人が集まり、荷物を積み、その上に乗りました。

トラックの荷台から運転台の上に機関銃を据えて釜山に向かいました。

釜山では大きな公会堂のような建物の中に収容されました。

陸軍の建物であったかもしれません。

かなりの人数の傷病兵が床に横たわり、その傍に一抱えもある大きな乾パン袋(金平糖入り)が置いてありました。

彼らは置き去りにされたように見え、食べる気力もないような感じでした。

私たちがその乾パンを貰うことはありませんでした

缶詰がたくさんあり、食べた後の空缶に長い紐をつけて足に履き紐の先を両手で持って歩きました。

下痢をする者が大勢いました。私も下痢をしました。

すでに、進駐軍が釜山に来ており、私たちが収容された建物に併設された厩舎から馬を引き出して、米兵が乗ろうとしたが、馬が暴れてうまく乗れませんでした。

1週間ぐらいは釜山にいたと思います。

敗戦前、博多から釜山に向かうときには甲板に集められ救命具を付けて避難訓練を受けました。

博多港から鹿児島駅に着くと、市役所と山形屋が見えました。

宿舎は天保山の鹿児島商業高校の教室でした。

その庭にあった唐芋を掘ったこと、一升瓶で米をついている人が大勢いたこと、与次郎が浜であったと思いますが、塩をとるために、ドラム缶のような物で海水を炊いている人たちが大勢いました。

=====

西山 和宏

=====

○隈元コメント

今朝の南日本新聞に「悲惨さ語り継ぐ責任果たしたい」という文を88歳の方が書かれています。



その中に「75回目の終戦記念日が近づいた。5歳頃には物心がつくとすれば、80歳以上の人は程度の差こそあれ、戦争経験者だろう。

(中略)私は戦争を再び起こさないため、悲惨さや残酷さを語り継ぐ責任があると思う」とあります。

永野さんも西山さんもまさにこうして自分の体験をここに書かれたわけで、敬意を表します。

もう一つできることは、これらをまとめて後世にコピーでもとって残しておくことだと思います。

いつの日か、子孫がそれを見て平和への思いを新たにすることもわかりません。

クマモト タツオ

○ 9大石コメント 木場くんへ

日連れて行って貰ったあの広大な大極殿。

ガイドの説明をいい加減に聞いてたことを後悔します。

隼人のことも話しておられました。

○大石さん

こんにちは

猛暑が ついております。奈良は 37度 埼玉地方？ 40度超えたところもあったようです。

コロナウイルスの感染 第2波 到来？ の感じがしてきます。我々 高齢者は 特に 感染しないよう

心掛けねば なりません。マンションから ほとんど 外出しない生活が 続いております。

館内での 毎朝の健康体操、 屋上庭園の世話など で日中 過ごしています。

さて、遅くなりましたが 長屋王に関して藤原兄弟の陰謀で抹殺され、当時の 聖武天皇時代の藤原氏一族の活躍、東大寺大仏建立など行基菩薩を大抜擢など

関連資料 PHP 研究所から 発行されている 「古代史」封印された謎を解く という

書籍から コピーし 郵送します。著者は 関 裕二 1959年生まれ 千葉県柏市生まれの方です。

木場 祥雄

○8月11日 隈元発

黒木家訪問記をブログにアップしました。ご覧ください。

<https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/202008110000/>

○大石コメント 八期 LINE に公開しました。隈元くんのは充実しています。

えびの市の秋山さんや本田さんもご覧になっていますか？iPhone から送信

○ありがとうございます。本田さんはいつもご覧いただいています。新聞記者というプロの秋丸さんには、さすがに躊躇しています。(笑)

○秋丸さんは喜ぶと思いますけど。大石

○森くん

私のブログを秋丸さんにも見たいだけのなら、転送してもらえますか。森くんの判断に任せます。 クマモト

○森アンサー黒木邸のことが詳しく書かれていて驚きました。早速秋丸氏に転送しました。

○ありがとうございます。 クマモト

○西山コメント

改めて黒木家 凄い家屋だと感じました。

歴史や真実、そして情報はあちらこちらに落ちているものだと思っていましたが、黒木家はまさにそうでしょう！

クマタツさん いい仕事をしていますよ！

虎は死して皮を残し、クマタツはブログを残すときたもんだ！

○隈元コメント

西山さん

ありがとうございます。

いつも言うように、ただただボケ防止のために自分を励ましながら書いているだけです。少しでもそういうことを遅らせようと…。

ブログには書きませんでした、(書けませんが)黒木家のこの屋敷を建てた資金についてもロシアから資金を持ち帰ったのではないかなど、実しやかなことが様々に言われているのだそうです。昔の「週刊ポスト」などで取り上げた記事など見せていただきました。

西山さんの言うように歴史や真実と情報はどこにあるかわかりません。

○西山コメント

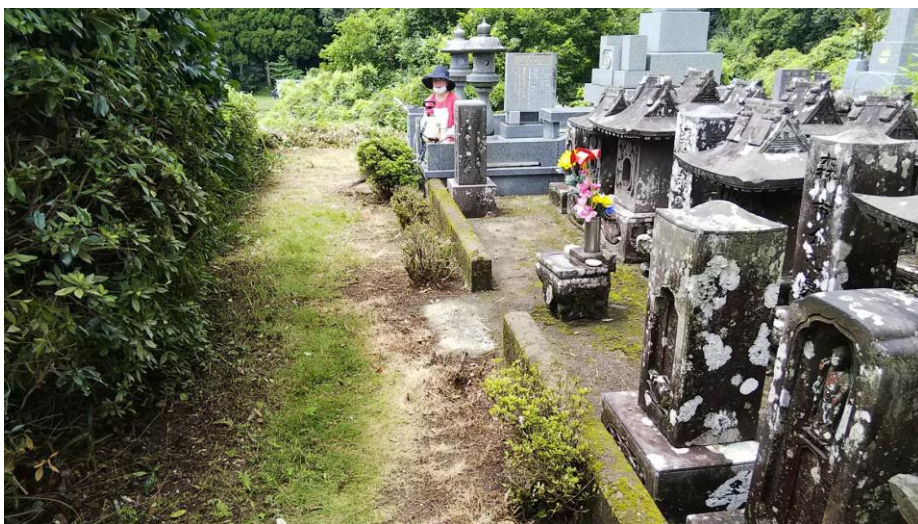
黒木家の贅を尽くした造り、扱いに困るくらいの大金がなければできないものでしょう。

「週間ポスト」に書かれた金塊など資金の話は本当に相手に渡したか、自分の懐にいれたかの違いはあっても権力者間でうまくやったことはあったでしょう。権力中枢とお金の話、現在も進行中です。



○森家の墓参り

今日はお盆前に墓掃除をするために牧園に行ってきました。この前よりも草が伸びていましたが除草剤を撒いたところは枯れれいました。ついでに仏様を彫った墓石どれだけあるか調べてみたら3基ありました。(上)



○隈元コメント

ご先祖さまもこの暑い中をよく来てくれたと、さぞかし喜ばれたことでしょう。

いい写真が撮れましたね。色付きの墓標があることは先日気づきませんでした。

この写真をまた使わせてもらうことがあるかもしれません。

○森発

仏像彫刻のある墓石に彫ってある年号を調べてみましたら 1 基は正徳 3 年（1713 年）2 基目は享保 20 年（1736 年）3 基目は年号のところが欠けているため不明でした。どちらも 300 年前の墓石であることを初めて知った次第です。

○貴重な情報です。残しておいてよかったですね。300 年とはさすが森家です。

おそらくこういう形で残されているのは少ないでしょう。 クマモト

○森アンサー

○先に添付した墓地写真は清掃前だったので清掃後の写真も追加添付します。

家内と二人で作業しましたが汗びっしょりになりました。

昼食は道の駅「霧島麓の駅」内に最近新装開店した「霧島大地ごはん」で霧島地鶏の唐揚げ定食を頂きました850円也

○隈元コメント

バッチリです。きれいになりましたね。「霧島地鶏の唐揚げ定食」食べたいです。

我が家は近くの武岡（長島美術館のある場所）にあります。息子が下手をして右足の靭帯を痛めて数日休む大騒動になり、最近車を運転しない私は未だ墓掃除にも行っていません。明日にはギリギリなんとなかなるでしょう。

息子はこのところ同僚の送り迎えで通勤しています。

○8月11日

改めて黒木家 凄い家屋だと感じました

歴史や真実、そして情報はあちらこちらに落ちているものだと

思っていたんですが、黒木家はまさにそうでしょう！

クマタツさん いい仕事をしていますよ！

虎は死して皮を残し、クマタツはブログを残すときたもんだ！

=====西山 和宏

○ 隈元コメント

黒木家訪問記をブログにアップしました。ご覧ください。

<https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/202008110000/>

○西山さん

ありがとうございます。

いつも言うように、ただただボケ防止のために自分を励ましながら書いているだけです。少しでもそういうことを遅らせようと…。

ブログには書きませんでした。が、（書けませんが）黒木家のこの屋敷を建てた資金についてもロシアから資金を持ち帰ったのではないかなど、実しやかなことが様々に言われているのだそうです。昔の「週刊ポスト」などで取り上げた記事など見せていただきました。

西山さんの言うように歴史や真実と情報はどこにあるかわかりません。

クマモト

○西山アンサー

黒木家の贅を尽くした造り、扱いに困るくらいの大金があればできないものでしょう。

「週間ポスト」に書かれた金塊など資金の話は本当に相手に渡したか、自分の懐にいれたかの違いはあっても権力者間でうまくやったことはあったでしょう。

権力中枢とお金の話、現在も進行中です。



〇えびの市を巡る旅。最終回をアップしました。ご笑覧ください。

<https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/>

クマモト

〇8月13日石造三連アーチ橋良いものは美しいですね

義弘公の銅像も立派。=====西山 和宏

〇先に送った仏像入り墓碑のうち赤紅で装飾した年代不明のものは、元禄13年庚辰11月(1700年)でした。戒名が信女となっているので女の子の墓だったのでしょう。

赤穂浪士討ち入り(1703年)の3年前に亡くなっています。

彩色する風習があったのでしょうか。

特に若くして亡くなった女の子に赤紅で彩色するというのは、当時の親心が偲ばれます。

時代は変わっても、親情は今も昔も変わらぬのだなあと思うことです。

当時の顔料や彩色の技術などが優れていたのか、それとも後世の人が塗り替えてあげたのかわかりませんが、いずれにしても貴重なものだと思います。今後も墓参の折は経年変化を見守ってください。 クマモト

〇8月14日 武下(大分~)

大石殿

すぐ、送ったつもりでいましたが、届いていませんか。たまに、息子に送信するだけなので、送信したつもりが、やり方を間違えて届かなかったんですね。最近、このような事がよくあるので困って、薬を吞んでいます。

お願いですが、ついでの時にでも、状況を添えてくださると、ありがたいです。 竹下嘉郎

iPadから送信

〇8月14日 西山

文末に、伊東氏が加久藤を襲う時、来援を求められて相良氏は500の兵を率いて駆け付けたが、「島津氏の、この兵衆に対して、及びも着かぬ」と引き返した。

相良氏が見た旗幟は、実は白鷺の群れであったろうとのこと。

これより400年前の平安時代後期、源平の富士川の戦いで、同じようなことがあった。

夜、源氏の兵が浅瀬を渡って平家の陣を衝こうとしたとき、水鳥の大群が驚いて飛び立った。

その羽音を大群による夜襲と思い、先を競って逃げ全軍バラバラになったという。

=====西山 和宏

〇大石アンサー

僕の気になるところはこんなところ。

第七巻では…

伊東氏から来援を求められて相良氏は500の兵を率いて駆け付けたが彦山嶽から飯野の方を見ると木崎原から白鳥山まで幟旗に覆われていた。「島津氏の、この兵衆に対して、及びも着かぬ」と引き返した。

相良氏が見た旗幟は、実は白鷺の群れであったろうか?…と書いてあったけど。

僕の現地で聞いた記憶ではえびの近在の女性たちが手に手に手作りの幟旗を持って山▲に上り見渡す限り島津軍に見立てた、それを見た相良軍は「こりゃ敵わない」と引き返した。

相良氏側の記録も見てみましたが呼ばれて参加した事は書いていたがさすがに「引き返した」理由は書けなかったでしょう。

○「歴史人 薩摩島津家 最強の真実」 37頁によると次のようにあります。

伊東勢が加久藤城の周囲に放った火は夜の空を赤々と染め、飯野城からも望見された。

○隈元コメント

仮眠していた義弘は部下に起こされると「時ぞ来たり」と新納忠元が抛る薩摩大口城や…と近隣の島津方拠点に狼煙をあげさせ、…そして五代友喜40人を南の野間口、村尾重侯50人を南東の本地口の溝にそれぞれ伏兵として配置し、かねて準備していた幟や旗印を肥後国境近くに林立させて兵が布陣しているように見せかけ、相良勢を牽制する。すべて手筈通り、と満足した義弘は手兵130人を率いて出陣する。

以上のようにあり、「手筈通り」というのはこれまでは私には義弘が何か謀略を図っていたということだけで内容がわからなかったものが、今回大石くんのメール添付にあった「使者の口から漏れて、義弘の伝わった」ということで初めて知ることでした。

幟、旗印を立てたというのは、伊東氏と組んだ相良氏が押し寄せると知った義弘が敵を欺くために立てた策略であり、実際は白鷺だったというのは話を面白くするために「鹿児島県郷土史大系第7巻」の著者が書いたのかと思った次第です。

○森発

黒木邸を建てた黒木親憲とセミヨノフ将軍が黒木邸で写した写真はないか秋丸信夫と黒木監督の弟(横山陽二 都城在住)に聞いたところ秋丸氏からえびので撮ったものはないが、満州で初めてセミヨノフ将軍に会った時の写真があったとのことで添付の写真を送ってきました。この時はまだ大尉だったようです。

なお横山氏からは資料はすべて宮崎県立博物館に寄贈したので残っていないとのことでした。以上閑話休題としてお送りしました。

○大石アンサー 8月14日

みなさん！黒木邸ーセミヨノフ将軍～ナゾの隠された財宝。興味深々ですよね。秋丸氏が大事に見せてくれたフライデーをスマホで写してくれば良かった。全く経緯が分からないので…多分、90%（川口浩探検隊）とは思いますが。

○14日八期えびの歴史探訪2020

日帰りの旅だったけど中身の濃ゆい ぎっしり詰まって、私も潤ものが、沢山ありました♡

森さんのご親戚筋、ご立派な方々がいらっしやう素晴らしいですネ

今日はお盆、おはぎを沢山作り、御近所の仏様にも、配り方でした🙏喜んで貰いました(o^^o) 永野和枝

○大変珍しい写真ですね。

その頃から、ロシアと堂々と渡り合ったことが、わかります。

貫禄もセミヨノフ将軍に負けていません。もっとも亡命した将軍を匿おうとしたくらいですから、黒木大尉の方がこの当時から上位にいたとしてもおかしくありませんが。写真は保存させてもらいました。名前のことです。

黒木親憲なのか、親慶(ちかよし)だったのか、どちらが正しいでしょう。

黒木邸前の説明版もネットでも、親慶となっています。

クマモト

## ○濱田くんの投稿返信集

○濱田修さんは南日本新聞「ひろば」欄に投稿しました。八期仲間に紹介したら何名かの方から「感想」が寄せられたので濱田さんに送ってあげたその返信（彼の私見）です。

お便り有難うございます。ご無沙汰ばかりで申し訳ありません。

大石さんが、歴史や現代社会の諸問題を仲間に発信され、問題意識を共有する中心として活躍されていることに心から敬意を申し上げます。知的好奇心を刺激されることは、心身の健康にも大変有意義なことではないでしょうか。

どなたかが言われていましたが、我々世代は、戦争の記憶を留める最後の年代ではないかと考え、投稿をしてみました。多方面の反響に驚いたり、狼狽したりしております。

我が国は、元寇の乱で武家社会が確立し、明治維新は、ペリーの来航が引き金となり、マッカサーの上陸で民主国家が誕生しました。イギリス、フランス、ロシア、アメリカなどが、自らの力で近代国家に変革したのとは、国家成立の在り方に基本的な違いがあるように思えます。植民地からの独立が、第二次大戦の終結にある諸国を後進国と呼ぶとすれば、我が国は、根本的には永遠の後進国であるのかも知れません。私を含めて、我々の国には「一人でもやる。一人でもやめる。」というような人は、少ないように思えます。

戦後、貧しさの中から立ち上がった我が国は、物の豊かさと利便性を追い求めてきました。この狭い国土を時速 500 kmで駆け抜ける高速列車もやがて実用化されようとしています。物は有り余り使い捨て時代になりました。しかし、それで人々は幸福な生活を得たのでしょうか。

思いやり、やさしさ、尊敬、感謝の気持ちが人々の間で共有されない社会では、決して幸福を感じることはできないのではと思います。人は、自分だけで幸福を達成できないし、ひとりだけの幸福感をもつことは、不可能ではないでしょうか。今必要なことは、安倍晋三氏を糾弾する前に、なぜ彼が、我々を代表する首相になったのか、国民一人一人が自らを省みることではないかと愚行します。「一人でもやる。一人でも止める。」この精神が国民に定着しない限り、いつも、問題を首相や政府のせいにするを繰り返す国になるような気がします。

お礼を申し上げる積りが、余計なことを書きました。皆さんの熱気にやけどしたことにしてお許し下さい。

現在は、帰郷以来の自治会、高齢者、退職会等の役員から離れ、狭い畑や庭木の世話を、老化現象と相談しながら楽しんで暮らしています。

今日一日の無事を感謝しながらの毎日です。

貴兄や同窓の皆様のご健勝と幸せを祈念してお礼に返させていただきます。

メールアドレス [h1466@synapse.ne.jp](mailto:h1466@synapse.ne.jp)

私自身は、メールは致しません。悪しからず。



大石さん

こんにちは

浜田 修さん 卒業後 初めて? では ないかと思いますが・・・

「新聞 ひろば」の投稿されたとか もし あれば メールしていただけませんか?

投稿文 わたくしが 思っているようなこと 書いておられるように 感じました。

1組 だったようで 寡黙な中に 時たま 自分の考えを 話すといった人ではなかったと記憶しています。メールアドレスは 使っておられないのですね?よろしく 木場 祥雄

○大石さん

こんにちは

外は 36~7度 猛暑です。 静岡県浜松、天竜は 40度以上 熱中症、命の危険あり と TV で報道されています。

ところで 浜田さんの投稿記事 早速メールしていただきありがとうございます。

彼は 教師をやっておられたのですね

当時の 状況 よく 理解できます。 母に 連れられ 買出しに 日豊線 財部町に 行きました。

父親が 戦死 男の3人 母親は よく 頑張ったと思います。

ありがとうございました。

今夜は 21時より 毎日放送 半沢秀樹 TV 番組を楽しみしています。

まずは メール 拝受 御礼まで 木場 祥雄

○若い時の彼の通りで何かホツとしています。

ここだけの話、私は皆の前では、自分の考えはあまり出さないようにしていますが(賢明な大石くんにはバレバレ?)濱田くんとこのような話をよくしたものです。彼みたいに哲学的な思考は私にはありませんが・・・。

彼も書いているように仲間には入ってこないと思います。

しかし、メールアドレスがわかったので、久しぶりに連絡を取ることができます。

手をかけて彼に便りをしてくれた大石くんに改めて感謝です。ありがとう。

クマモト タツオ

○素晴らしい返信だと思います

「一人でもやる。一人でも止める。」でありたいものです

それほどの決意でなくても、考えや行動を支持できない

候補者には投票しないことの実行は、人知れずできることです。

どのようなリーダーであれ、我々が選んだ人です。

できるだけ多くの情報に接して、騙されないようにしましょう。

最近の専門家、識者と言われ自認している人々にも

本当にそうかと思われる輩が跳梁跋扈しています。

コロナのワクチン、国内開発にしろ、輸入にしろ

本当にできるのか、どのようにできるのか間もなく判明します。

当たり前すぎることですが、すべては選挙の結果です。

=====西山 和宏

○8月16日

大石さん

こんにちは

新聞記事 メールしていただきありがとうございます。

毎年 終戦記念日頃は うだるような暑さですが 今年は 特別のような気がします。

コロナウイルスで 外出も控え目 いつ、どこで 感染するか不安といった感じで 家で過ごすしかないか・・・という日常生活です。

鹿児島県下に残る特攻基地遺構 鹿児島には こんなにたくさんあったとは 勉強不足でした。

戦後75年も経過 当時を知っている方々も少なくなってきました。

最近 大東亜戦争の実態について 日本敗戦時 資料を当時の政府の指導で ほとんど焼却され、残っていないというのが 実情らしく、日本 国全体ベースで 戦争記念館建設？ 二度と戦争を起こさないための検証など ほとんど 行われていない また やる気もないというのが 今までの 日本政府の方針で 検証することになれば アメリカが マッカサーの指導の下で 行われた 外国 フィリピンなど軍事裁判、国連軍事裁判など 日本国民には 知らされてないことなど 多くのことがあるようです。

ときどき マスコミにいろいろな 事が 記事になっていますが 私は もう 今更・・・という思いです。

いろいろ TVで放送されますが 興味ありません。

原爆被災者の治療対象者の裁判も話題になっていますが なんで 今までに もっとしっかり やらないか また 戦地に行かれた人たちの 遺骨が 百万以上も帰った来ていないとか TVで 話されているコメンテーターもおられますが もう 七十年以上もたってからの 回収作業など とても 無理な話で たとえ、現地へ回収作業に行ったとしても 当時と 様子は変わってしまい、 遺骨回収はもう無理で お金の無駄使いと思います。

まあ、いずれにしても この時代を知っている世代は 記憶力がしっかり？ ポケてなければ 八期会の皆様あたりが ぎりぎりのところ 世代ではないかと思えます。

新聞記事を見て 感じたまま 書いてしまいました。 ぼけ老人のたわごとと収めてください。

まあ、皆さん コロナウイルス感染、熱中症に 留意して お過ごしください。

木場 祥雄

○木場さんの仰ることに同感です

同時に、政府に指示で焼却した書類に、果たして真実が

書かれていたかどうか怪しいものだと思います。

戦前なら、今日以上に忖度文学の傑作集でしょう。

五味川純平「人間の条件」1冊でも戦争の悲惨さは伝えられます

戦記文学は作り物で、真実ではないと言われることがあります。

今に残る史料について、芥川龍之介は、西郷隆盛生存説を題材にとった

「英傑」（大正6年12月15日書）の中で、次のように書いている。

「..... およそ歴史上の判断を下すに足るほど、

正確な史料などと云うものは、どこにだってありはしないのです。

誰でもある事実の記録をするには自然と自分でディテールの取捨選択を

しながら、書いてゆく。これはしないつもりでも、事実としてするのだから仕方がない。

と云う意味は、それだけもう客観的事実から遠ざかると云う事です.....」

でも、各々の体験談を子や孫に話して聞かせることはとても大切です

私は見た体験したという事実は何物にも勝るものです。

このときに事実は真実です。=====西山 和宏

### ○中間くんから久しぶりのコメント

木場さん、西山さん こんにちは

ご二人の御意見に全く同感です。

日本政府、省庁職員の誰かが取り上げようとするとスタッフは検証しなければなりません。

大変に難儀なことは当たり触らずで、余計なことはしない、係わらない、

残さない、焼却ありの世界で、今日があります。

私も、政府、大臣、省庁の要人が平気で御託を並べるのはうんざり、画面断です。

言い過ぎかもしれませんが、私見として …… 中間

### ○中間さん

お元気な様子で何よりです

その件に関しては、言い足りないことはあっても言い過ぎはありません。

倍返し、いや10倍返しでも足りないくらい。

日本の偉い人たちは官も民も幼稚化しています。

だから半沢直樹が受けるので～す。

庶民は馬鹿じゃないのです。

半沢が剣道の面を脱いで顔に汗が流れていますが私は、剣道の稽古で顔には汗をかきませんでした

顔以外の箇所は汗びっしょりです。

=====西山 和宏

○8月17日 木場くんから…

西山さん

こんばんは

今日も 猛暑 静岡 浜松では 41.1度 過去最高の猛暑とか 生駒でも 我がマンションの軒先 37度強の暑さでした。

さて、今日も 含蓄のあるメール文 頂きました。 ゆっくり 噛みしめながら 読ませていただきました。

勉強になります。他方、いつまでも 好奇心を失わず・・・残り少ない人生を 過ごしていきたいと思っています。受け売りですが 以前？ かなり前 友人から ガンジーの名言を 食事取りながら 聞きました。

明日 死ぬかのように 生きよ。

永遠に生きるかのように 学べ

Live as if you were to die tomorrow,

Learn as if you were to live forever.

両方(日本語と英語)合わせて覆唱するのが良い？

なかなか 凡人には できないこととです。(参考にと 聞き置きました次第で。メモだけは取りましたが・・・)

ありがとうございました。 また よろしく メール返信 期待しながら 待っています。

まだまだ 暑さ厳しき折柄 お体 ご自愛のほど お過ごしください。

木場 祥雄



○物言わぬは腹ふくるるわざなり

物言えば唇寒し秋の風

自分から言い出すことはあまりないが

言われれば、聞かれれば、つい、言ってしまう、書いてしまう。

言うことによって、書くことによって、新しい考えが浮かぶことがある。

年齢を重ねると、年齢相応に新しい発見が

あることに気が付くようになりました。

まだまだ、やらなければいけないことがありますので

何とか成し遂げたいと思っています。

今一度のと思うこともあります。

コロナ&残暑厳しき折から ご自愛ください。

=====西山 和宏

○帰って来た（八期）論客たち… 大石アンサー

と、書くと??と思われることでしょう。

早いものでもう5年経ちます。IS（イスラム国）がシリアを舞台に世界中の話題になっていました。キーワードはヨーロッパ難民と受け入れ国との間の国際問題でした。

八期メール交信を通して、メイン論客の西山和宏、木場祥雄、中間一範氏に隈元、森永、大石などが加わり意見を戦わせ合いました。

まあ今迄続いている『八期歴史通信シリーズ』のはしりですかね。

今回、濱田修さんの新聞投稿に始まり、皆さんのご意見を濱田さんに送って、その又、コメントを紹介したらさっそく論客3名が「控えめながら」それぞれの心境「今まさに思うこと」をメール発言してくれました。

まあ続くとは期待していませんが、僕としては懐かしくもあり楽しみでもあります。

何より濱田修さんの返しコメント「ひとりでもやる、ひとりでもやめる」はわれら傘寿マンの琴線に触れました。

「事実は、真実とは違う…」西山氏が応えました。木場祥雄さんはもう考えたくも、でしゃばりたくも、見るのも疲れたと言いつつコメントしてくれました。

『八期歴史シリーズ往来』も楽しいけれどこの三人論客に願わくば濱田修さんも加わり【時事放談】談義も続いて欲しいと思います。

…詳しい「やりとり」については、月末発信します【八期歴史通信8月号】をお楽しみ??に。

今回、特別な夏（気温は40度超えなのに季節はもう秋）…残暑お見舞いメールに替えて【コロナより熱中症☹️】発信します。

大石慶二 keiji oishi

○ガンジーの名言、よい言葉ですね

文頭に、Live と Learn を見て

Live and Learn is my life.

Learn and Live is also my life.=====西山 和宏

○物言わぬは腹ふくるるわざなり

物言えば唇寒し秋の風

自分から言い出すことはあまりないが

言われれば、聞かれれば、つい、言ってしまう、書いてしまう。

言うことによって、書くことによって、新しい考えが浮かぶことがある。

年齢を重ねると、年齢相応に新しい発見があることに気が付くようになりました。

まだまだ、やらなければいけないことがありますので何とか成し遂げたいと思っています。

今一度のと思うこともあります。

コロナ&残暑厳しき折から ご自愛ください。

=====

西山 和宏

○今日も暑い熱い鹿児島から残暑お見舞い申し上げます。

西山氏の「物言わぬははらふくるるわざなり」また逆に「物言えば唇寒し秋の風」ということも分かりながら？ の残暑お見舞いです。

先週の14日(金曜日)の南日本新聞の「南点」への新名一仁氏(新進気鋭の薩摩の歴史、なかんずく島津氏の研究に新しい視点から取り組んでいる宮崎県出身の学者で

現在、鹿児島大学、志学館大学の非常勤講師)の投稿です。

主題になっている「天地に燦たり」という小説を初めて知ったのは、以前も私が「八期歴史通信」に投稿した記憶がありますが、昨年7月にあった「島津義弘没後 400 年シンポジウム 戦国島津最前線」を聴きに行った時でした。その時の資料の中に「戦国島津はどのように発信されるのか」という項目があり、川越宗一氏の「天地に燦たり」が紹介されました。そのときは私の好きな作家の一人である松本清張賞を受賞されたということまあ興味はありましたが、本の購入はしませんでした。

ところが、「熱源」で第162回直木賞受賞ということを知り、いよいよこれは読まねばなるまいと思って買いに行きました。いや「熱源」ではなくて「天地に燦たり」をです。

新名氏の投稿文にあるように三人の主人公が登場しますが、中でも島津家の重臣・大野七郎久高(樺山家より大野家に婿養子に入る)を中心に島津氏と大友氏との戦いから朝鮮の役、琉球での戦いまで一貫して自分の生き方に悩みながら生きています。

最初はとっつきにくい小説ですが、私の知らない儒学が出てきて、島津家でも学んだその中心の「朱子学」(道学)が「己の修身と世界の安寧が直結している」などと現代忘れられて(一部の人々)いることへの警鐘にも聞こえ読み進む原動力になり、引き込まれていきました。「その理により人は生来、善だ。至善だ。至善にあり続ければ人は『天地ト参ナルベシ』、天地と三つに並び立つ偉大な存在にも至り得るとまで、儒学は謂う」。読み終わってみるとほんとにいいものを読んだという気持ちになりました。

暑さを忘れる一冊です。 クマモト

○17日 大石アンサー

ご紹介ありがとう  さっそく Amazon 発注しました。文庫本を。

○西山アンサー

今、「天地に燦たり」注文しました。

樺山久高は琉球で現地の人々に恨まれるようなことをしていないと思います。

黒砂糖で過酷なことをしたのは、かなり後になってからのことです。

松本清張が好きな作家の1人とのこと同感です。

「天地に燦たり」の前年に、同賞を受賞した

「明治乙女物語」には森有礼などが登場します

明治の初め女子教育を重視した物語が書かれています。

これに満足したら続編として「明治銀座異変」があります。

最近、何かで「西郷札」の活字を見て、

松本清張短編全集1「西郷札」を引っ張り出して読みました。

それには、短編が8つ載っていて、「西郷札」以外は

読んだ記憶が残っていませんでしたが傑作ぞろいでした。

お陰で、やらなければならないことが

どんどん後回しになっています。

それを楽しんでいます。

=====

西山 和宏

〇〇空は澄み渡り 雲あくまでも白く 静寂そのものです。|幼き頃見上げた空もこの様でした。

戦争に負けたなんてこと 知る由もありませんでしたが・・・あの時もこの静寂がありました。

皆様から配信された歴史資料 知見 感謝です。

思えば 今のコロナ騒動 歴史の転換期を示す事象かもですね。残暑続きます。お体を大切にですね。

長崎 諫早 森永

〇大石アンサー

和宏様

僕も昼 Amazon へ文庫本を発注しました。

そうでしたか？

あのいただいた『明治乙女物語』と同じ作者でしたか。

面白い本でしたね。森有礼が登場していましたがなぜがミステリアスな読み物であの頃の情景がリアル(想像の中の)に残っています。

何人かの(隈元くんにも貸しました)仲間に輪読してもらいました。

今日は木場祥雄さんから本のコピー(20枚40ページ)届きました。『長屋王の悲劇』数年前木場祥雄さんの引率で大和路をたどる八期旅行をしましたが、そのことで隼人の話しなど中年ボランティアさんの説明をいい加減に聞いてて残念でした。とメール交信のとき『神話と大和』について書いたら、覚えておられて送ってくれました。彼は旅の企画もそうですがとてもアンチいい加減人間です。

アレ!もう、11時半でしたね。

おやすみなさい





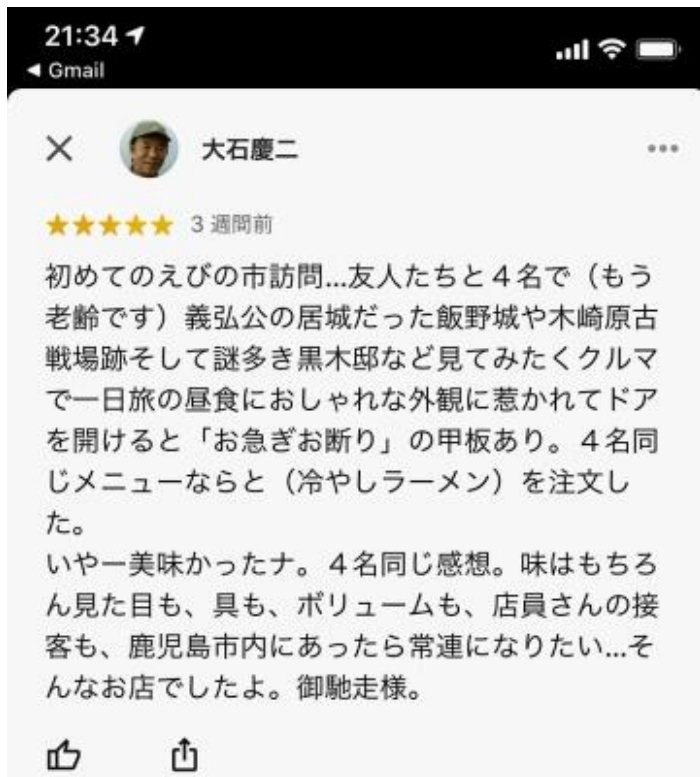
○みなさん読書好きのようで 友を選らば、書を読み 六部の俠気 四分の熱  
与謝野鉄幹

12 時には、惜しみながら書を閉じて、明日を楽しみに眠りについています。

、きっと良いことがあります。 =====西山 和宏

○8月18日 大石コメント

あまりにも美味かったえびの市の冷やし中華にお礼のつもりで投稿したら Google からお礼のメールが届きました。



○西山アンサー

外食はほとんどしない（できない）生活を送っています。  
冷やし中華、このところ週に1回くらいは作っています。  
手がかかると言うこともあれば、さほどでもないと感じることもあります。

○私も中華料理大好き派ですが？ ♪

えびの正一の冷やし中華、よっぽど、美味しかったのですねー

私も何回も、美味しさを貴方から聞きました(^.^)。投稿まで、貴方が、可愛い。本当に思い出になった、日帰り旅行でしたーステキな旅でした(o^^o) 永野和枝

○本当に惜しかったのですね

ネットで正一のメニューを見ました。

書き込みが異常なくらい多いですね！ =====西山 和宏

○最強の調理器具はパソコンネットでレシピを見てその通りに作ります

そのためメニューは極めて豊富です。

でもみなさんの会食は格別のものだと思います。 =====西山 和宏

○人気店なのでしょう。特にボリュームに圧倒されます。 大石コメント

○西山さん

最強の調理器具🤔お料理の方にも、興味がありそうですね♡

レバートリは18番のものは？趣味がよろしいですねー頑張って 永野和枝

○和枝さんへ

最強の調理器具。活用頻度が高いのは圧力釜で黒豆や小豆でぜんざいなどは作り置きします

レバートリ18番は問われてもほぼ毎日違う物を作っています

レシピは毎日クックパッドなどをプリントアウト。

豚角煮は残り物にジャガイモやニンジンを入れてカレーに、または、ラーメンに乗せる

ビーシチューは残り物にジャガイモその他の野菜を入れる

スープはスパゲッティにかける。

ポテトサラダは、

ジャガイモをレンチン3分、ひっくり返して3分少し冷まして、布巾かキッチンペーパーで包んで  
体重をかけて押しつぶします。

冷めるのを待って、キュウリ、ハム、卵を入れマヨネーズをかけてかき混ぜて出来上がり。

生鮮食品の鮮度見分けについては仕事柄、長年の経験があります。

このような話はいくらでもあり、を交えてじっくりしたいものです。

=====西山 和宏

○みなさんへ 永野和枝アンサー

昨夜は色々、食についてお聞きしました(^.^)

最強の調理器具🤔 圧力釜をご利用なされた料理に取り組んでいらっしゃる事 さすがですね♡

圧力釜も最近改良され、簡単になっていますよね？

よく使いこなしているのに、びっくり!!沢山レバートリ 増やして下さい(o^o)

余談ですが

私の友人達のお話 退職して、仲間達と、団体で公民館活動の料理教室に行っています。昔の職場や仲間達 夫婦とも  
知って、仲良くしているんですけど...

奥さんの方に聞くと？私の場合と違って、奥さんの方が体調が悪くたったケース 料理教室が役に立っているみたい。旦那

那さんに感謝していますよ



○西山 拝復

圧力釜電気式も欲しいとは思っていますが

ティファール、タイマー付きを使用しています

最近、キャンベルの缶詰スープを便利に使っています。

これはお薦めだと思います。

○隈元コメント

流石です。西山さんは主夫のカガミです。

私が自慢できることは、朝はパン食のため、トースト、コーヒー沸かし、ヨーグルト、トマトジュースなど全て私が準備することです。

これは、娘が結婚する時に「お父さんは何もできないから朝の準備くらいしなさい」厳しく言われたのでもう20年以上続いています。

それと、もう一つあります。家内が手荒れが酷いため、3食後の食器洗いをもう12、3年続けていることです。

近所であった「男（ダン）クッキング」にもしばらく通いましたが、料理は作れません。 クマモト

○8月24日

久しぶりの台風到来、あまり影響なさそうですね。期待した勝みなみちゃんの予選通過もならず、貯めていた録画も削除。ジャイアンツは3連敗、ボヤキしか出ません。

さて、地元新聞の文化欄もパッとしません。

街道見聞記も……

作者の地元の見聞録なのでさすが詳しい。

そろそろ「日向筋」に移ってもいいかな、と思う事です。 ケイジ

○鹿児島の名所旧跡が多いことに今更 感心しています。

そのほとんどを知りません。

偉い人が腰かけると名所になるようです私の家の近くの白山神社には孫文が腰かけたという石があります。=====西山

○隈元コメント

今日も興味のあることばかりですが、「知らない、行ったことがない」ことばかりです。

鹿児島県内の歴史もよく知らない自分です。

先日の松本清張の話題から、「傑作短編集 或る『小倉日記』」を引っ張り出して読み返しているところです。

このところ歴史に関する本以外はほとんどシャットアウト状態でしたが、改めて読み始めたら止まりません。

同時に家内が読んでいた「近代日本」誕生の謎、逆説の日本史① 古代黎明編 の2冊も引っ張り出してきました。

○大石

僕はまだ『天地に燦たり』半分も読み終えていません。^\_^道学先生の儒学に引っかかってしまいネットから……学（中国古代史）に寄り道してしまいました。

達ジーはご夫婦趣味が近くて羨ましいですね。

西山くんの言う「有名人の腰掛けた石」

本当にその通りですね。

僕も思い出すと10人くらいは座ったかも知れません。

○クマタツアンサー

「天地に燦たり」は私も今回読み返してブログに書きました。

これは異色の時代小説という感を改めて感じました。

「朱子学」(道学)は、己の修身と世界の安寧が直結しているという凡人には及びもつかない学問ですね。

しかし、学ぶ価値のある学問だと思います。

今回も中途半端な形で昨日、ブログに書きました。 クマモト

○「天地に燦たり」ストーリーも壮大ですが知識が半端じゃないAIでも活用しなければ間違いそうなことが述べられている。

随分と長い時間、少なくとも1年以上、数年を要したと感じた。

編集者という者は、驚くほど知識が豊富だがこの本の編集となると想像を絶するものであったろう。

あれっと思うところで、終わってしまったがもう少し書いて欲しかった。

でも出版社は、あまり長くなるのを好まないしかし、著者の川越宗一が実績を重ね新聞連載でも書くようになると大長編作品を世に送り出してくれるものと期待ではなく、確信している。

いや～、凄いものを読んだというよりも観たという感じです。

松本清張受賞作は、ストーリーもさることながら文章の美しさと堅固さも求めているような気がした。



=====西山 和宏

○或る「小倉日記」、鬼気迫るものがあります。

何かの小説の中に登場する、病に臥し余命いくばくもない孫娘のために客を引き、抱かせる話を祖父の話の思い出しました。

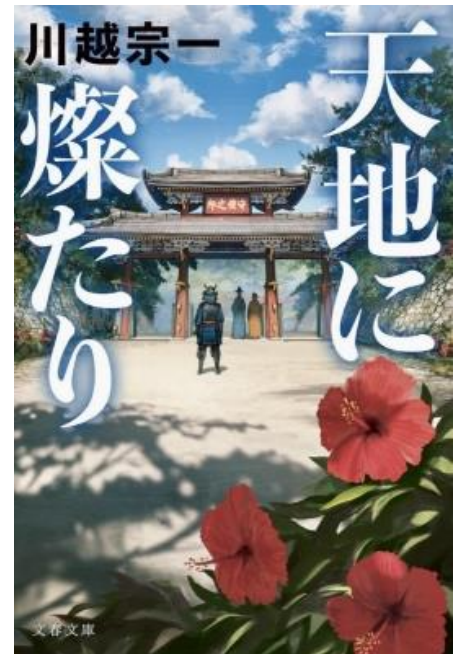
清張の第1作、西郷札など何をどのように調べて書いたのか、漢字などの知識の豊富さには驚くばかりです。=====西山 和宏

○隈元コメント

「天地に燦たり」を読み始めて驚いたのは、最初の場面が私が他の史料で必死で読んだ「岩屋城の戦い」でしたが、そのあたりは思ったより別の視点から書いてあり（虚実取り混ぜた小説ですから当然ですが）、それでもこの小説のテーマとも言える「儒教思想」を私たち読者に訴えるのに全編の10%くらいは費やしていましたね。

戦いも日本～朝鮮～琉球へと大きなスケールで展開しています。しかし、西山さんの言うようにこれだけの小説を書くには相当な知識・知見がないと書けないと思いました。「岩屋城の戦い」「二つの朝鮮の役」「琉球の戦い」ともたくさんの史料を自分のものとした上で、それをまとめるという大変な作業があったのだらうと思います。まさにAIでも駆使しないとまとめられないようなものを、あれだけのボリュームの中に収めるということは凄い才能だと思います。

清張の 或る「小倉日記」伝 短編集は現在5篇読み返しました。改めて傑作ばかりだと思います。全編読むまで止められません。クマモト



○ニシヤマ発

いや凄い著者ですよ

しかも印税収入がない状態で書いたものでしょう

文禄・慶長の役、日本側からだけでなく朝鮮側からも書かれているのが立体的で、なるほどそうかと思うこともありました。

編集者川田未穂が解説で、選考会で「こんな読みにくいものはとても無理」という声があったと書いているが、おそらく、こんなものは私には書けないという嫉妬からの発言でしょう。

試みに「 」内に会話だけ少し読んでみると、非常に調子がいい。

この著者は、声に出しながら「 」内を書いています。

ドラマ化はしやすいでしょうが、非常にお金がかかり、CGを駆使することになるでしょう。

登場人物に悪人がいない感じ、したがって勧善懲悪の読みものではない。

両班とは、武班と文班のことだと知ったときには驚きました（154頁）

私は両班という階級だと思っていました。武班と文班を合わせて両班というとは思っていませんでした。

明鍾が属する白丁身分では死んでも墓も位牌も許されない。

生きているときには、履物や帽子も許されない。

戦前、朝鮮で徴用工を募集すると、下層身分の人々は喜んで応募したそうです。

奴隷のように酷使されたと言いますが、炭鉱などでは日本人も奴隷のように酷使されました。

明鐘が不当な扱いをされる最下層から抜け出すために戸籍を焼き払おうとするところなど読み応えがありました。

### ○西山アンサー

寒山・拾得ですか、私は、スラッとした一見優男かと思っていました。

読了後、しばらく経って思うことはストーリーが、さあこれから、愈々、本題に入るぞというところでスコンと幕が降りた感じ。

3人の主要人物が揃ったところで、沖縄のこと、沖縄・琉球と薩摩のことを書いて欲しかった。

でも、著者も精根尽きたか、他のことを書きたくなったのであろう。

功成り名を遂げた人が、今後、何をなさいますかと問われてまだ、読んでいない本があるので、それを読みますと答える人がいます。

### ○8月26日 大石コメント

久しぶりの台風が近くを通るため雨風の強い天候になりました。

新聞切り抜きでは、遺跡からの警告（疫病編）④

第1部 先史時代から奈良時代・・・という随分長いシリーズの4回目です。

1～4を添付しますが聖武天皇に時代、西暦750年（天平時代）の疫病・天災・東大寺大仏・・・の話です。

### ○西山アンサー

疫病ほど怖いものはないかもしれませんね

地震雷火事親父と言いますが、これはもっと恐ろしいものが2つ抜けています。

1つは疫病です。もう1つは、ワクチンはなし、免疫もなし、世界中に蔓延しています。

18世紀、当時フランスに比して後れていたイギリスは逸早く種痘を行い、フランスは、その導入に大きく後れ、以後、国力が逆転した。回も、新型コロナは覇権を争う契機をもたらしているのかしれない。未、ないがヒョットしたら、人生とは本を読むためにあるのかもしれないと今日この頃、思うようになりました。

「本」とは単なるbookではなく、基本であり根本であるようです。

日本の本も含めていいでしょう。=====西山 和宏

### ○8月27日『うちの整理』を始めました。クマモト発

昨日、今日と昼間はエアコン要らずの雨交じりの天気できささがホッとしました。

昨日は、妹の主人の病気見舞いを兼ねて久しぶりに街に出ました。何だかんだで一日仕事でだれました。

今日は今日で終活の一巻として、一階の本棚の整理をして、250冊ばかりの捨てる本をくくったりで疲れしました。要らない本がたくさんあって、自分でもびっくりしました。

先日も100冊くらい捨てましたので一階の本棚は必要な本だけになりました。

歴史関連や松本清張、藤沢周平、好きな推理小説以外は全部処理します。



自分 17:20

To Kazu, 森繁, 永野和枝, 隈元達雄



大石です。『天地に燦たり』について...  
西山氏の解説は役に立った。なるほどと感心する。

確かに「...」内の会話だけ読むと歯切れがいい。まるでドラマのシナリオを読んでもらうようだ。動きがある。（僕も学生時代シナ研にいた）

又感心したのは、確かに登場人物に悪人が出てこない（まだ少ししか読んでいないけど）

両班・白丁についてはネットで（朝鮮・白丁と）検索してみた。

明鐘の風態（見かけ）が妙に頭に残ったから。でも、髪は長いまま止めず、衣服も紐で巻かず、足は裸足と、寒山拾得のようなスタイルが白丁と書いてあったので写真を探した。見つからなかった。

...又、西山くん！ いい解説をお願いします。

達ちゃん先生とのやりとり楽しみです。

また、次は涼しい日を選んで今度は二階の本棚の整理です。

ここには私が非常勤になって暇にあかして読んだ BOOKOFF の本が多いのでほとんど捨てることになりそうです。それが済んでも家の中は要らないもので溢れています。日頃の思い切りが必要だということを痛感するこの頃です。

#### ○大石アンサー

偉い!

僕も全集(ろくに読んでもいない…年取ったら読もうと買った)古本屋も「全集は基本的には買い取りません」と言われた。

もったいないけど。作者本人からいただいた詩集、句集、本人作品(全てずっしり)捨てるのは失礼と思って)でも死ぬまで読まないかも。

写真も孫 4 名 × 5 冊に自分たち二人の幼・青・中・壮・老 × 2 × 5 トータル 15 冊あります。

アルバムの整理は時間がますネ。同じものなら捨てやすいけど。

今日は南郷善ちゃんの退院と彼の古いタブレットからファーウェイの新しいタブレットへの移行手伝いに午後からさっきまで熱中。明日も終日費やしそうです。

○

私も何やかや 少しずつ整理していますが

改めて見て、しばらく置いてから

捨てるのが よくあります。=====西山 和宏

#### ○クマタツアンサー

とは言っても、本にもそれぞれ思い出があるので、いささか躊躇しますよね。

で、夫婦でそれぞれの本を自分の想いの中で取舍選択して思い切って処理しました。

何年前かに BOOKOFF に持ち込んだ時に、二束三文だったので書類のゴミ出し日に出したほうがずっと効率的だったことです。

装飾品など雑貨類が本棚の隙間にあったりでこれも困ったものです。何十年の間にはほんとにゴミの山になりますね。

大石くんは写真をアルバム整理しているとは流石です。

私は写真は何処其処に隠れたままです。これも引っ張り出して整理しないといけません。

何枚か、何十枚かづつ置いてあるのは間違いありません。

ビデオテープはもうほとんど捨てましたが(古い演奏会のものは後輩が DVD にしてくれました)、CD と DVD もある程度はまとめて置いてありますが、置き場所を作ってから、改めて整理しようと思っています。

#### ○終活?

皆さん、そろそろ終活の準備ですか?

私も一年前ぐらい前、福岡にいる娘を頼んで整理(終活)に帰鹿してもらい ゴミ袋(30 個)ぐらい出しました。捨てる時が大変?? 朝方 5 時頃

音がしないように、ゴミ置き場に捨てに行くのが大変、なんか悪いことしているようで……

そんな経験をしたこと思い出しました 永野和枝

#### ○西山アンサー



0 数年前、米国流通業界の月刊誌がデジタル化される前、約 40 年分のバックナンバーを持っています。  
日本では私だけかもしれません。  
かなり訳したものは、パソコンの中に入っています。  
それから用語をピックアップして「米国流通用語事典」を上梓しました。  
米国で業界のバイブルと言われる本を 30 代に手に入れ 40 代に完訳しました。  
将来、孫の誰かが、流通にのほうへ関心を持ったらと淡い期待を込めて保持しています。  
それがかなわないときには、大学の図書館に寄付するつもりです  
まあ、欲しいと思った本は、ほぼ購入できたことはラッキーであったと思っています。

○早々と整理なさって、偉いと思います娘さん孝行ということですよ！

すっかり片付いたら、次のゴミ集めのために長生きしましょう！=====西山 和宏

○大石アンサー

またまた山ほどある CD と DVD。

パソコンにすべて保存して、それをまたハードディスクに再送までしてあるのに。

まだ原盤を捨てきれない自分がいます。

○ニシヤマ発

それだけ 幸せな人生を送って来たということでしょう。

それも、もうしばらく続きます。

捨てるのは、いつでもできるということです。

○隈元コメント

昨日書いたように自分では思い出になったり、これからも読み返すだろうと思って残す本ですが、その他のものも含めて、いざという時には残された子供や孫たちにとってヘタの長物になるのでしょうかね。

それが分かっている現段階では捨てられない物も多いです。

そこは、後世に残るものが処理してくれるように願うしかないと思いながら、進めています。

西山さんが言うように、次のゴミ集めに励むことが未永く人生を楽しむことに繋がると思います。

○西山アンサー

断捨離と洒落てみたいところですがなかなか そう簡単にいかないこともあって迷うことしきり、えいやと、今回は一応も越して後日、処分を検討することしきりです。

かなり古くなった道具類のいくつかは、そのまま我慢して使い続けるよりも後、数年以上使用する予定で買い換えています。

結構、快適になることが多いです。

……………8 月号はこれにて終了します。

また来月！！

大石監修